

平成23年3月29日

財団法人 笹川記念保健協力財団

理事長 紀伊國 献三 殿

施設名 福岡県糟屋郡志免町別府西 3-8-15

社会医療法人 栄光会 栄光病院

代表者

理事長 下稲葉 康之

平成22年度ホスピス緩和ケアナース養成研究事業助成
に 係 る 報 告 書 の 提 出 に つ い て

標記について、下記のとおり報告いたします。

記

1 研究・研修事業 平成22年度ホスピス緩和ケアナース養成研究事業

2 期 間 平成22年 4月 1日 ～ 平成23年 3月 31日

3 報 告 書 I 事業の目的・方法

II 内容・実施経過

III 成果

(上記 I～III を A4 縦判・横書 6,000 字程度にまとめる)

IV 収支報告

① 助成金の主な用途(人件費以外は領収書等の証憑書類を添付)

② 当該助成金に関わる部分の決算書「写」

(貴機関の全会計決算書でなく、当該助成計上部分のみで可)

* 決算期の関係で3月19日までに「写」を提出できないときは提出
予定日を記入(提出予定日 平成22年6月10日)

V 添付書類

当該施設の研修カリキュラム (パンフレットでも可)

I. 事業の目的・方法

1) 目的

末期がんやその他の重篤疾病による死亡者が年々増加する中、ホスピスや緩和ケア病棟に従事する熟練ナースの不足は深刻である。この事は、とりもなおさず一般病院・一般病棟におけるターミナルケアに対する認識・取り組み・経験が未熟であることを示している。

ホスピス・緩和ケア体制の充実のためには、その事に関心のあるナースを育成し、ターミナルケアの裾野を広げることが先決であると考える。

したがって、

- ① 一般病棟における、ターミナルケアに対する意識の向上
- ② 一般病院・一般病棟における緩和ケアの充実
- ③ ホスピス・緩和ケア病棟に従事するナースの充足
- ④ ホスピス・緩和ケアの教育体制の充実を目指すことを目的として、研修活動を実施する。

2) 方法

- ① 笹川記念保健協力財団及び日本看護協会が選考した看護師に対し、指定された期間に実習を実施する。

- ② ナースのためのホスピス緩和研修実施要項の発送
(資料 1～3 参照)

- ③ 研修申込書に基づき受入れ準備
・ 緩和ケア病棟 ・ 宿泊寮

- ④ 研修担当者による打ち合わせ
・ スケジュールについて
・ 実習担当について
・ 期間中の世話係について
(以上 資料 4・5 参照)
・ その他の資料による案内
「栄光病院のごあんない」「手と目と (病院機関誌)」「ホスピス通信『ホスピトラ』」
「ホスピスのあんない」

④ 研修開始

- ・ 実習の進行状況把握、調整
- ・ 研修の目的が達成できているか、毎週金曜日に懇談会を持ち確認を行い修正する。
- ・ 希望に基づき、講義を行う。

Ⅱ. 内容・実施経過

1) 研修内容

実習

- ① 日勤・夜勤を勤務ナースとともに、患者・家族と接しながら、その技術的対応の仕方、精神的関わり、方法について体験する。
- ② 症状コントロールの実際を担当ナースと実践する。
- ③ インフォームドコンセントの必要性・留意点を学ぶ。
- ④ チームの役割・チームアプローチについて実際を学ぶ。
- ⑤ ボランティア活動に参加し、活動の実際を知る。
- ⑥ 回診に同行して、コミュニケーションの取り方・患者の反応を学ぶ。
- ⑦ 在宅ケアに同行して、実際を学ぶ。
- ⑧ 患者様の前夜式・お葬式・追悼祈念会への参加を通して、グリーフケアを学ぶ。

講義：希望時・必要時行う

- ① 全人的ケア
- ② 疼痛・症状コントロール
- ③ スピリチュアル・ケア
- ④ コミュニケーション
- ⑤ ボランティアの関わり など。

2) 実施経過

1) ナースのためのホスピス緩和研修実施スケジュールを土台に実施

① オリエンテーション

- 研修全期間のスケジュール・内容
- 研修期間中の心得

② 病棟におけるオリエンテーション

- 病棟の構造
- 一日の流れ（日勤・夜勤）
- 研修体制・担当者の紹介
- 患者紹介

③ 実習開始

- 担当ナースと行動をともに実践

④ 進行状況をチェックし、講師と時間調整を行う。

⑤ 毎週末に、懇談会を行い効果的な実習になるように調整・修正する。

2) 評価

① 研修生と担当者・関係者と懇談

- 研修全体について、評価・反省・感想を尋ね
- 目的が達成されたかを確認

② 研修レポートの提出を要請

③ レポートの内容と、実習状況より評価を行う。

3) 修了式

修了証書授与

記念品贈呈

Ⅲ 成果(2010 年度)

<実習生実数>

上期 2 名、 下期 8 名 計 10 名

<研修指導者>

研修責任者・研修オリエンテーション＝看護部長

研修指導者＝病棟師長、主任および日々の担当看護師、認定看護師

<研修内容>

- 1 週目：病棟オリエンテーション、在宅ホスピス見学、
日々の患者ケアに当日担当看護師と共に参加する。
- 2 週目：個人の研修目標を確認しつつ、スタッフと共に患者に関わる。
週末(金曜日)に、担当看護師・看護部長をまじえて研修生と中間評価を行う。
- 3 週目：希望者のみ夜勤研修の組み入れ・・・夜勤帯の患者の状態を把握する。
最終週としてホスピスケア全体の疑問解決に向け行動する。
最終日に病棟師長・看護部長をまじえて研修生と最終評価を行う。

<院内講義>

- | | | |
|----------------|-------------------|----------|
| ①ホスピスにおける全人的ケア | 担当：ホスピス長 | 2 時間×1 回 |
| ②症状コントロール | 担当：ホスピス医長 | 2 時間×1 回 |
| ③ホスピスにおけるリハビリ | 担当：リハビリ師 | 30 分×1 回 |
| ④スピリチュアルケア | 担当：病院チャプレン | 1 時間×1 回 |
| ⑤ホスピスボランティア | 担当：ボランティアコーディネーター | 1 時間×1 回 |
| ⑥ホスピスの食事 | 担当：管理栄養士 | 30 分×1 回 |
| ⑦口腔ケア | 担当：歯科衛生士 | 30 分×1 回 |

<関連実習(任意)>

- ① 在宅ホスピスケア(訪問看護同行)
- ② ホスピス外来見学
- ③ 音楽療法士、MSW 等と必要に応じて懇談
- ④ 在宅ホスピスカンファレンス出席

<ビデオ学習(当院作成のビデオ)>

- ① 「いのち輝け」 25 分
- ② 「いのちの質を求めて」 30 分
- ③ 「幸福な死を迎えたい」 25 分

<体験学習>

定期一主任の指導および担当スタッフの同行にて行う。

- ① 日勤業務
- ② 夜勤業務(任意)
- ③ 受け持ち患者とのかかわり

不定期一実習期間の患者の状況によって実習体験は均一ではないが、良い学びとなるので、出来るだけ参加していただいている。

家族会、誕生会、お茶会、季節の催し物、看取り式・お別れ式、前夜式、院内お葬儀
など

☆別紙「緩和ケアナース研修生チェックリスト」添付

緩和ケアナース研修生チェックリスト

氏名

	説明	見学	施行
症状マネジメント：麻薬の取り扱い			
症状マネジメント：（CSC）の取り扱い			
症状マネジメント：Wetexの使用法			
セデーション：施行（CSC）			
セデーション：施行（DIV）			
日常生活の援助：清拭			
日常生活の援助：体交			
日常生活の援助：入浴介助			
日常生活の援助：リフト浴			
日常生活の援助：洗髪			
日常生活の援助：マウスケア			
ホスピス相談・外来			
入院時の受け入れ			
看取り			
お別れ式			
葬儀			
家族会			
告知			
誕生会・記念日のお祝い			
季節のイベント			
追悼記念会（9月/3月）			
在宅との連携方法			
ボランティア参加			
音楽療法			
代替療法（ssm アガリクスなど）			
夜勤			
受け持ち			

下稲葉先生 講義 総論	/	～
吉田先生 講義 ① 症状マネジメント	/	～
吉田先生 講義 ② 症状マネジメント	/	～
清田先生 講義 スピリチュアルケア	/	～
ビデオ	/	～

質 問

所感

平成 22 年度は、計 16 名のナースの方々に当院ホスピス病棟にお越しいただき、共に学びあえる機会を頂きました。研修生それぞれの背景は、すでに緩和ケア病棟で役職を持って勤務されている方、これから新規立ち上げに関わる予定の方、あるいは一般病院の緩和ケアチームのメンバーとして活動を始め方等様々ですが、それぞれの立場での具体的な課題を持って参加され、3 週間の研修期間のなかで、充実した学びをしていただけたことと思います。最終日の振り返りの会合の中では、研修生の方々がこの研修を機に自分自身の基本的な看護観について考え直し、それを深めることができたと感じておられること、当院の理念である『癒し癒される医療』に触れ、研修生御自身も癒されたとの感想を持たれたことなどに、現場のスタッフ共々大変励まされております。

今年度は更に財団のお計らいで、実際の研修の現場を見ていただいたり、また研修受け入れ施設の合同会合に出席させていただいたりして、当研修の位置付けなどを再確認することが出来ました。これらの検討内容を基に、今後も当院としてどのような研修体制を整えていけばよいのかということも研修指導者ともども考えていきたいと思っています。

自分自身の中に新しい発見をされた研修生の方々が、今後もそれぞれの場所において、看護の基本とも言えるホスピスマインドを大切にして日々のケアを深められますようにと願いつつ、実習受け入れ施設としての当院の役割を果たしていきたいと考えております。

平成 23 年 3 月

社会医療法人 栄光会 栄光病院
看護部長 中島長子

ナースのためのホスピス緩和研修 実習要項

実習者名 様

施設名

実習期間 自 平成 年 月 日 曜日
至 平成 年 月 日 曜日

実習時間 日勤 AM 8:30～PM 5:00
夜勤 PM 4:30～AM 9:00

※ 初日はAM 8:10までに来院し、事務所においで下さい。

交通機関 西鉄バス 博多駅交通センター 32番・33番 (約25分) 南里
天神日銀前 32番・34番 (約40分) 下車
地下鉄 福岡空港駅4番出口よりタクシー (約5分)
タクシー 博多駅より (約15分)
自家用車 栄光病院職員駐車場(指定の場所がありますのでお申し出下さい)

宿 泊 研修生用の宿泊施設がありませんので、各自で手配して下さい。
但し、看護師寮の二室のみ用意しています。ご希望の方はお申し出下さい。
(一泊2,000円、寝具リース2,500円/3週間)

食 事 1、病院給食 (1食 400円)
2、病院売店 いずれでも結構です。
3、お弁当持参

服 装 * 白衣・キャップ・ナースシューズをご持参下さい。
・ストッキングは白またはベージュ色
・カーディガンは白・黒・紺 をお願いいたします
* 訪問看護同行はスラックスか体操着等をご用意下さい。

持参用品 * 健康診断書

研修費 * 事前に振り込んでいただいておりますので必要ありません。
但し、食費・コピー代等は、実費をいただきます。

以上 ご案内をいたします。何かご不明な点、お尋ねがございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

問合せ先 社会医療法人 栄光会 栄光病院

〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西 3-8-15

Tel. 092-935-0147

Fax 092-936-3370

ホスピス緩和ケアナース養成研修担当 中島・野口

看護師寮宿泊要項

住所	〒811-2205 福岡県粕屋郡志免町別府48-1 亀山寮（病院より徒歩10分） TEL 092-936-2604
交通機関	西鉄バス 博多駅交通センター 14番ホームより32・33番（約25分） 天神日銀前より 32・33・34番（約40分） 空港前より 5番（5分）（1時間に1～2本） タクシー 博多駅より（約15分） 地下鉄空港駅4番出口より（約5分）
宿泊室	個室一六畳和室・キッチン・バス、トイレ（ユニット）
設備	エアコン・コンロ・冷蔵庫・洗濯機（共用）
費用	一泊2000円、寝具リース代2500円（3週間）

- * 職員の状況で空室がないときがありますのでご確認ください。
- * 入寮中は、寮規則をお守りください。
- * お荷物を送られる際は、上記の住所へお願いいたします。
（ 管理人 加賀 が対応いたします。）
- * 支払いは、最終日の午前中に事務室でお願いいたします。
- * 入寮・退寮は、下記までお知らせください。

以上 ご案内をいたします。お尋ねがございましたら、下記までお問合せください。

問合せ先 社会医療法人 栄光会 栄光病院
〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西3-8-15
TEL 092-935-0147
FAX 092-936-3370
研修担当 中島・野口

研修申込書

研 修 者	フリガナ 氏 名		性 別	男 女	年 令	
	所 属		職 種			
	住 所	〒 TEL FAX				
研 修 場 所	開 始	平成 年 月 日 ()		期 間	日 間	
	終 了	平成 年 月 日 ()				
	部 署					
研 修 目 的						
宿 泊	院 外 施 設	名称 住所 TEL 期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日				
	亀 山 寮	入寮日 平成 年 月 日 () 時頃 退寮日 平成 年 月 日 () 時頃 () 泊 () 日 荷物搬入予定 () 希望事項 ()				
食 事	病院給食 毎週 () 曜~() 曜	平成 年 月 日 () 食~平成 年 月 日 () 食 朝食 昼食 夕食 (希望食に○をして下さい)				
	特記事項	朝食 昼食 夕食 () () ()			計	食
備 考						

ナースのためのホスピス緩和研修 研修事項

研修者 ()
 研修期間 (年 月 日 ～ 月 日)

研修目標

第一段階

- 1) ホスピスマインドの習得：ホスピスとは…（温かいもてなしを理解できる）

第二段階

- 2) 患者の苦痛の的確なアセスメント、および苦痛の緩和の具体的な看護援助技術を学ぶ
身体的な快適さの提供・ADLの拡大・QOLの向上
- 3) 患者心理の理解
死に至る過程での心理・安らかな死を迎えるための援助
- 4) 家族の悲嘆のプロセスへの適切な援助

第三段階

- 5) プライマリーナーシングの実践
症状コントロール・スピリチュアルケア・家族の援助・チームアプローチ
ストレスマネジメント
- 6) ホスピスケアにおける看護の役割を認識し、チーム医療を効果的に実践できるような役割を果たす

第四段階

- 7) ホスピスに関わる看護師の継続教育に関わり、ホスピスの質の改善や向上に貢献する

研修指導者

研修指導は、日々の担当看護師が行う

研修責任者は主任看護師

オリエンテーション

研修オリエンテーションは初日に、看護部長が行う

施設構造・看護体制・患者紹介は病棟師長あるいは主任が行う

研修生と師長・主任とで、研修の目的、目標について話し合いを持つ

研修内容

- 1 週目 病棟の流れの把握
患者へのケアに当日担当看護師と共に参加する
週末に各自の研修目標にそった患者2名の選定
- 2 週目 主として関わる患者2名のケア目標をもち意図的に関わる
週末に研修の中間評価
- 3 週目 主として関わる患者2名のケア目標をもち意図的に関わる

夜勤研修の組み入れ 夜勤の体験をする中で夜間帯の患者の状態を把握する
最終週としてホスピス全体の疑問解決に向け行動する
週末に最終評価

研修記録

所定の記録用紙に毎日記録し提出
師長・主任・その日の担当看護師がサインする

研修評価とまとめ

各週の終了日（金）に看護部長・師長・主任と面接
研修の評価、質疑応答
最終日前日までにホスピスナース養成研修のまとめを提出し、面接に望む

研修方法

1 週目

当日担当者が、本日受け持つ患者の問題点、ケアの注意事項について説明する
1 週目の単独行動は控え、担当者と共に動く
研修終了時間に本日の疑問点解決のためのディスカッションを行う
1 週目の最終日に、2 週目以降受け持つ患者を決定する

2 週目～3 週目

朝の申し送り後に本日の行動目標について自ら発表する
夕の申し送り前に担当看護師に本日の報告をし、出来れば申し送り、記録もする
夜勤の研修を行う場合は3 週目に計画する
経験項目の未修部分をチェックし意図的に経験する

注意事項

チームアプローチ及びプライマリナーシングの実践に支障のないよう、相談・報告は怠ることのないよう留意する
専門職業人であるという自覚のもとに、責任と誠意のある対応をする

ナースのためのホスピス緩和研修スケジュール

		8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
月	1 週 目	朝礼	D 申送り ↔	オリエンテーション 患者紹介	講義 中島看護部長		C	ボランティア実習			D ↔
火		B	訪問看護実習				C	訪問看護実習			D ↔
		D 申送り ↔									
水		朝礼	D 申送り ↔	訪問看護実習			C	訪問看護実習			D ↔
木		B	病棟実習				C	3 A カンファランス	病棟実習		D ↔
		D 申送り ↔									
金		朝礼	D 申送り ↔	病棟実習			C	3 B カンファランス	懇 談		D ↔
月	2 週 目	朝礼	D 申送り ↔				C	D ↔			
火		B					C		回 診	D ↔	
		D 申送り ↔									
水		朝礼	D 申送り ↔	回 診			よさおと寝会 C	D ↔			
木		B					C	3 A カンファランス	D ↔		
		D 申送り ↔									
金		朝礼	D 申送り ↔				C	3 B カンファランス		懇 談 まとめ	D ↔
月	3 週 目	朝礼	D 申送り ↔				C	D ↔			
火		B					C		回 診	D ↔	
		D 申送り ↔									
水		朝礼	D 申送り ↔	回 診			よさおと寝会 C	D ↔			

木		B		C	3 A カンファランス		D ↔
		D 申送り ↔					
金		朝 礼	D 申送り ↔	C	3 B カンファランス	懇 談	D ↔

A : 8:30～9:00 職員朝礼

B : 8:30～9:00 患者よきおとずれ会

C : 12:30～13:30 昼食休憩

D : 看護申送り

その他 ・ 金曜日 原則としてリフト浴

・ 家族会は随時

・ 空白欄は通常のケア業務